

材料利用を可能とする

# リグニンの正体

—森林資源を活用する地域導入型ニュービジネス—

2017年 **10**月**18**日(水)  
13:30~17:15

リグニンは木材の主成分で、樹木が固くしっかりした構造であるのは、リグニンによるものです。様々な素晴らしい性質を持つリグニンですが、物性のコントロールを阻む多くの謎があり、未開の原料とされてきました。

研究コンソーシアム「SIPリグニン」は謎を解き明かし、世界初のリグニン産業を生み出しつつあります。その技術は国内の中山間地域に新たな資源産業をもたらすもので、注目されています。材料利用を可能としたリグニンの正体は何なのか、解き明かします。

**参加無料  
事前登録制**

参加登録方法:

下記メールアドレス宛に

①氏名 ②所属 をご連絡ください。

\*会場の都合により180名を超えましたら  
閉め切ります。ご了承ください。

[lignin2017@ffpri.affrc.go.jp](mailto:lignin2017@ffpri.affrc.go.jp)

会場 **石垣記念ホール**

東京都港区赤坂1-9-13  
三会堂ビル9F



講演1 「材料利用を可能とする誰も知らないリグニンの世界」  
SIPリグニン代表(森林総合研究所) 山田竜彦

講演2 「地域導入を可能とした改質リグニン製造システム」  
森林総合研究所 高田依里

講演3 「改質リグニンを用いた高付加価値材料の開発」  
産業技術総合研究所 蛭名武雄

製品紹介と展示の案内  
産業技術総合研究所 石井 亮

講演4 「リグニン分解と有用プラットフォームケミカルの創製」  
京都府立大学 宮藤久士

総合討論 「中山間地域に新たな収入をもたらす資源産業の創出」

併設 開発製品展示会